

議会 だより

つなぎも

JULY
7

3月第1回定例会 平成27年度当初予算を審議

総額52億3700万円の当初予算を可決

5月第1回臨時会 議長に林 賢二氏を選出

新議員による初議会開催!議会構成決まる



平成27年 第1回定例会開催

平成27年度 当初予算

総額52億3700万円

平成二十七年第一回定例会が、三月四日から二十日まで開催され、平成二十七年当初予算や平成二十六年度補正予算、条例改正、監査委員の選任などが上程されました。また、二人の議員が一般質問に立ちました。



所信演説する西川町長

○平成二十六年度津奈木町一般会計補正予算の専決処分の承認
○平成二十六年度津奈木町一般会計補正予算
○平成二十六年度津奈木町国民健康保険事業特別会計補正予算
○平成二十六年度津奈木町後期高齢者医療事業特別会計補正予算
○平成二十六年度津奈木町簡易水道事業特別会計補正予算

○平成二十六年度津奈木町介護保険事業特別会計補正予算
○平成二十六年度津奈木町恒久対策事業特別会計補正予算
○平成二十六年度津奈木町宅地造成事業特別会計補正予算
○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正
○津奈木町国民健康保険条例の一部改正
○津奈木町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

主な質疑概要

林 賢二議員

問 商工費の中でプレミアム商品券の予算の説明をお願いしたい。

答 プレミアム商品券は商工会の自主事業で町が補助金を支出するものである。

一万円の商品券の購入で一万二千円分の買い物が出来、五千セット、五千万円分発行する予定である。二千円のプレミアム分約一千万円を国の交付金を活用し地元商店等の活性化を促す事となる。商品券の印刷や換金などに関わる経費に約二百七十万円程度を予定している。

川野雄一議員

問 企画費に予約型乗り合いタクシー運行システム開発業務委託料七百七万四千円、地方創生総合戦略基礎調査委託料八百九万円が補

正されているがその理由は。

答 予約型乗り合いタクシー運行システム開発業務委託料は、デマンド方式で運行する時の人件費と予約型運行システム構築の初期費用である。地方創生総合基礎調査委託料は、町外の人に住まいを提供する為に空き家調査を実施するものである。

問 予約型乗り合いタクシー運行説明会で、参加者から運賃、運行開始時期についての質問があったが、結論は出たのか。

答 運賃は片道、町内三〇〇円、水俣市内八〇〇円で運行開始は十月頃を予定している。

寺本信介議員

問 庁舎エレベーター耐震改修工事と庁舎車庫防鳥ネット設置工事の減額の内容は。

答 エレベーター工事は入札差額が減額になっている。

防鳥ネット工事は、当初ネットを張る予定であったのが、発泡スチロールを空間にはめ込む形に材料変更したため減額になった。

村上義廣議員

問 道路維持費の工事請負費で、合串福浦線防護柵の工事費が六十八万八千円減額となった理由は。また、塩害対策で消波ブロックを設置する計画はないのか。

答 当初予算三百四十七万四千円、実績が二百七十八万五千円で、入札残である。また、消波ブロックは、景観を損なうので、耐用年数の長い亜鉛メッキ型に変更した。

橋口知恵子議員

問 B & G 体育館工事で、観覧席の床張りの板に統一性がなく違和感を感じたが、検査等はしなかったのか。

答 竣工検査を行ったところ、材料等には問題はなかった。今後は施工中の監理の徹底を図りたい。

久村昌司議員

問 マガキ養殖事業補助

金の内容は。

答 漁協の経営安定化を図る事業でマガキ養殖枠を三基予定している。現在二名の方が予定されていて、養殖場所はまだ確定していない。

各常任委員会の審議状況

本議会において、平成二十七年当予算を主に、各常任委員会に付託され、審議された結果について、各常任委員長から報告があり、二月二十日の本会議において可決されました。

総務振興常任委員会

○津奈木町職員の定数に関する条例の一部改正について

○津奈木町報酬及び費用弁償条例の一部改正について

○津奈木町特別職報酬等審議会条例の一部改正について

○津奈木町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

○津奈木町教育長の給与、

勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の廃止について

○津奈木町職員等の旅費に関する条例の一部改正について

○津奈木町減債基金条例の一部改正について

○平成二十七年津奈木町一般会計予算（総務振興常任委員会所管分）

○平成二十七年津奈木町簡易水道事業特別会計予算
○平成二十七年津奈木町

恒久対策事業特別会計予算

○平成二十七年津奈木町宅地造成事業特別会計予算

○町道路線の廃止について

○町道路線の認定について三月二十日本会議において委員長報告がなされ、可決されました。

委員会予算審議での主な質疑

問 ふるさと納税をされた方は何名か。

また、寄付金の額はどの程度か。

答 今年度は三名で、昨年度も同程度である。寄付金の額は、今年度一名の方から百万円の寄付があったが、通常は三〜五万円の寄付を頂いている。

問 改善センター事務室増築工事の内容は。

答 改善センターの自動販売機が設置してあるところで、面積は四十四㎡である。

問 旧赤崎小学校跡地利用構想について、具体的にはどういったことを考えているのか。

答 環境省の補助事業を活用し、海岸、グラウンド、体育館等を一体的に考え、自然体験学習、交流事業など地元住民を巻き込みワークショップ等を行いながら計画を策定したい。

問 予約型乗合タクシー運行委託料の算出根拠は。また、利用者はどのくらいを見込んでいるのか。

答 委託料は、運転手の人件費、車輛のリース代及び修繕代、ガソリン代等である。一日当たりの利用者は四十八名を見込んでいる。

問 光ブロードバンド基盤整備事業について、利用料はいくらか。また、民設民営の導入条件はあるのか。

答 インターネット加入の場合月額料金四千四百十三

円で、光の場合は四千四百十円。民設民営の導入条件は町内の三割が加入すれば採算がとれる。

問 温泉センターリニューアル工事の内容は。

答 玄関、レストランの厨房、サウナ等の改修、家族風呂の模様替え等を計画している。温泉センターを八月末から十月末まで休館する予定である。

問 新年度は消防の小型ポンプ購入が計上されていないが、買い替えの予定はないのか。

答 小型ポンプの更新基準は、目安として二十年以上であり、当該ポンプは現在十九年であるため対象とならない。

教育住民常任委員会

○津奈木町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定について

○津奈木町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の制定について

○津奈木町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について

○津奈木町立学校設置条例の一部改正について

○津奈木町幼稚園設置条例の一部改正について

○津奈木町保育の実施に関する条例の廃止について

○津奈木町放課後児童クラブ条例の一部改正について

○津奈木町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

○津奈木町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスのに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

の一部改正について

○津奈木町介護保険条例の一部改正について

○平成二十七年津奈木町一般会計予算（教育住民常任委員会所管分）

○平成二十七年津奈木町国民健康保険事業特別会計予算

○平成二十七年津奈木町後期高齢者医療事業特別会計予算

○平成二十七年津奈木町介護保険事業特別会計予算

三月二十日本会議において委員長報告がなされ、可決されました。

委員会予算審議での主な質疑

問 四季彩の料金を改定して、入湯税の増額を見込んで、入湯税の増額を見込んで、売上げや入館者数は変わったのか。

答 入湯税は、一〇〇一円以上の利用者に賦課するもので、平成二十六年度は四千四百九

十人、平成二十七年は四千五百五十人で、六十人の増加を見込んでいる。

問 児童クラブの定員は三十五名だが、現在は何名か。

答 多い月が二十二名で、年度初めは多いが夏休み明けから減少していく。障害児の受け入れもあり働く親の手助けにもなっている。

問 来年度から個人番号カードは申請で発行されるが、社会保障番号制度の個人番号は申請しないと付番されないのか。

答 平成二十七年十月一日から送付される通知カードにより通知され、住民全員に付番される。個人番号カードは、この通知カードとは別にICチップが内蔵され、個人情報

が収録されたカードとなり、申請に基づいた発行になる。

問 保育園費で報酬の増額はなぜか。

答 賃金の見直しを行い、

平均で一・二五倍の増額と二十七年は職員を増員する予定としている。

問 特定健康診査委託料の増額の理由は。

答 男性へのPSA検査（前立腺腫瘍マーカー）と人間ドックの対象者を七三歳、七四歳も追加したため。

問 国民健康保険基金の運用について、健診は行っているが健康増進に向けた事業などは考えているのか。

答 国保の事業で、どうしても国保の方が対象となるなど議論すべきところもあり、健康増進に向けた施設計画なども含めて検討していく。

問 認知症総合支援事業とあるが、平成二十七年から始まるのか。

答 平成二十七年からで、地域包括支援センターの職員が研修を受け、資格を取得する予定となっている。

子育て支援の強化について どう考えるのか



橋口知恵子議員

問 京都府伊根町では、人口減少に歯止めをかける対策として、義務教育の学校給食費、修学旅行費、学校副教材費などを無料にして子育て支援の思い切った施策を行っている。

国も人口減対策は重視し始めており、町としても子育て支援対策を強化すべきである。具体的に考えている施策はあるのか。

また、京都府伊根町の施策を参考に取り入れることはできないか。

答 京都府伊根町では、子育て世代に移り住んでもらいたい、少子化に歯止めをかける対策として、町内三つの小中学校に通う児童や生徒を対象に、給食費や教材費など学校側に支払う経費を来年度から原則無料にする。修学旅行の積立金も含まれ、当初予算は七百二十万円盛り込まれている。

町教育委員会としては、学校に対し、副教材については家庭の負担をできるだけ軽減するために内容を吟味し、必要なものを選択して金銭的な負担を最小限にするよう指導している。

子育て支援として、ICT教育や英語教育に力を入れ、校舎や体育館の整備を行い、副教材を無料にしている分を教育の向上を図るということ考えていると考える。

義務教育については、親が受けさせなければならぬという義務がある。義務教育に補助金として税金を出すのは如何なものか。給食費は現状のままで行きたい。

問 嘱託職員の採用年齢は何歳か。年齢の上限を引き上げられないか。

答 嘱託職員は、単年度ごとの採用のため退職年齢はなく、採用年齢は、上限として六〇歳を目途にしている。職種の特特殊性では六〇歳以上でも採用している場合がある。

その他の質問

◎町民体育祭について

津奈木インター開通に 向けた観光振興策は



久村昌司議員

問 四季彩の大規模リニューアル工事についての内容と、金額が大きいようだが入札については町内業者も入れるのか。

答 工事内容については、主にサウナの拡張、かかり湯の設置、給湯給水配管の取替、脱衣所の空調設備と照明の取替、管理棟の玄関ポーチと床の改修、レストランの厨房の拡張と喫煙用の分煙室の設置を考えている。工期は二ヶ月半で金額は一億四千万を予定している。入札については、工期をできる限り短くしたいため、工期内で出来る業者に致したいと思っている。

問 工事期間中の従業員の雇用はどう考えているのか。

答 グリーングイトや町の方で臨時雇用できないかと、男性は草刈や重盤岩の整備など出来ないか考えている。

問 津奈木インター開通に向け、美術館、物産館、舞鶴城公園と一体となつて、観光振興に努めていきたいと主要施策で述べられたが、

四季彩駐車場にトイレの新設など、周辺整備はどう考えているのか。

答 JA加工場の移転が出来ないか考えているが、補助金を頂き作った施設で耐用年数がまだ残っている。移転になると補助金返還や事業主体のJAのほうにペナルティーが課せられる事も考えられるため、移転については十分に検討をしながら進めていきたい。

問 現在定住促進補助金が出るのはさくら団地のみであるが、人口減少に歯止めをかけるためにも、以前のようにどの土地に家を建てても補助金を付けられないか。

答 町内業者の振興のためにも、考えていいのではないかと思う。又空き家対策などでリニューアルのための補助金なども今後考えていいのではないかと思っているの、内部で検討を行っていく。

その他の質問

◎本年度夏祭りの補助金について

議長に林賢二氏を選出

本年四月執行の津奈木町議会議員選挙後初めての議会が五月十二日に開催され、議長に林賢二氏、副議長に川野雄一氏が選出されました。

各委員会の構成が行われた後、議員選任の監査委員に村上義廣氏が選任同意され、広域行政事務組合議員に林氏、川野氏が選出されました。



川野臨時議長より当選の告知を受け承諾の挨拶を述べる林議長

第一回津奈木町議会臨時会が、平成二十七年五月十二日に開催されました。川野雄一氏を臨時議長とし、議長の選挙が投票により行われました。結果、林賢二氏が議長に選出されました。

議長交替後、議席の指定等が行われ、副議長の選挙の結果、川野雄一氏が副議長に選出されました。

次に各常任委員会、議会運営委員会の選任（次ページ参照）が行われ、議案の審議へ入りました。

審議された議案
○平成二十六年年度津奈木町一般会計補正予算の専決処分承認



副議長当選承諾の挨拶を述べる川野副議長

○平成二十六年年度津奈木町国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認
○津奈木町税条例の一部改正の専決処分の承認

○津奈木町国民健康保険税条例の一部改正の専決処分の承認

○津奈木介護保険条例の一部改正

○津奈木町監査委員の選任同意

○津奈木町固定資産評価員の選任同意

○津奈木町一般会計繰越明許費の繰越計算書の報告

以上の議案は全て可決されました。

監査委員に村上氏を全会一致で同意

議員から選任される監査委員の選任同意については、村上義廣氏が全会一致で同意されました。繰越明許費の報告の後、水俣芦北広域行政事務組合議員の選挙が行われ、林賢二氏、川野雄一氏が選出され、初議会が閉会となりました。

5月臨時会

議会だより
を編集発行す
る議会広報委
員会の各構成
が次のとおり
決まりました。

(敬称略)

議会広報委員会
委員長 本山真吾
副委員長 川野雄一
委員 久村昌司
委員 澤井静代
委員 上村勝法

本臨時会において、議会の会期や日程等の運営や委員会の活動内容を主に調査研究する議会運営委員会。
町の振興計画や農林水産業の振興等、主に総務課、振興課の事業を調査研究する総務振興常任委員会。
学校教育や住民の福祉厚生等、住民課、教育委員会の事業を調査研究する教育住民常任委員会。

教育住民常任委員会
委員長 寺本信介
副委員長 澤井静代
委員 林 賢二
委員 橋口知恵子
委員 本山真吾

総務振興常任委員会
委員長 柳迫好則
副委員長 上村勝法
委員 村上義廣
委員 川野雄一
委員 久村昌司

議会運営委員会
委員長 久村昌司
副委員長 寺本信介
委員 柳迫好則
委員 澤井静代
委員 上村勝法

第32期 津奈木町議会構成 決まる

新しい 顔

前列右から

柳迫好則議員 (2)
村上義廣議員 (6)
林 賢二議員 (7)
川野雄一議員 (2)
寺本信介議員 (4)

後列右から

久村昌司議員 (2)
橋口知恵子議員 (2)
澤井静代議員 (初)
本山真吾議員 (初)
上村勝法議員 (初)

() 内は当選回数



議長就任あいさつ



第17代議長
林 賢 二

五月十二日に行われました臨時会におきまして、議員各位のご推挙によりまして、議長の要職を担うことになりました。身に余る光栄と衷心よりお礼申し上げます。私自身、一度議長の職を経験させて頂いておりますので、議長という要職の大変さ、責任の重さはそれなりに理解しているつもりではありますが、改めて身が引き締まる思いを感じているところです。ご推挙を受けましたうえは誠心誠意努めさせて頂きますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

日本経済も、バブルの崩壊からようやく右肩上がりへ転じている様で、株価も二万円を超え、少しずつではありますが上向の兆しが見えてきたようですが、地方まではまだ届かず、厳しい状況下にあるようです。農林漁業も米価も下がり、ポスト甘夏として改植した不知火もなかなか成果が上がらず、耕作放棄地の問題等、今後何か策を考えていかなくてはと思います。来年度より第六次水俣芦北振興計画が新たに始まります。出来ればその中に入れ込んで行けたらと思いますし、また、地方創生が叫ばれています。これまでは国主導で色々な事業が行われていましたが、地方からも良いアイデア等出して頂き、地方が元気になる、最終的には国を盛り上げて頂きたいとの思いのようです。いずれにしても、大変難しい問題です。この他にも、少子化問題、雇用、福祉、教育等々山積しています。我々議会といたしましても、執行部とは是々非々の関係で、皆様の信託に応えられる様努めていきたいと思っています。

議員数が二名減り、また、四名のベテラン議員が勇退をされまして、寂しさや不安がありますが、今後共にご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

副議長就任あいさつ



副議長
川 野 雄 一

五月の第一回臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、副議長に就任致しました、責任の重さを痛感しますと共に身の引きしまる思いでございます。今後とも議会の果たすべき役割を十分認識し、公正かつ円満に運営されますように、誠心誠意に務めて参ります。

本年は地方創生元年で、一次産業の振興、子育て支援、人口減少への対応、津奈木インター供用開始に伴う活性化策、そして防災、減災など多くの課題への取り組みが求められております。そこで、平成二十七年で作成する「地方創生総合戦略」に住民のアイデアと創意を生かして、実効性のある計画を作成し、事業実施すること、個性豊かな活力のある津奈木町にする為に議会一丸となって一生懸命頑張る所存でございます。

私たち議会も改革、活性化に努め町民の皆様から、信頼される議会を目指してまいりますので、皆様のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。就任の挨拶と致します。

新人議員を 紹介します

澤井静代議員



ひと月前の出馬表明で、右も左もわからないままでの短期決戦の選挙戦でしたが、皆様に支えて頂きまして、無事に当選できました。心からお礼を申し上げます。
「元氣と安らぎを届けます」をキャッチフレーズに、これから日々精進し努力致しますので、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

本山真吾議員



津奈木町を「元気にしたい!」この一心で先の町議選に挑み、皆様の暖かいご支持を得て当選させて頂き、有り難うございました。自分の能力を最大限生かし、町民の皆様の暮らしを少しでも豊かにするために頑張ります。
また、子育て世代の代表を自覚し、新生児が毎年四十一人以上生まれ「生活しやすい」「子育てしやすい」町づくりを提案していきます。

上村勝法議員



この度、町議会議員に当選させて頂き、有難うございます。
今、津奈木における厳しい現状を受け止め、安心・安全で暮らせませう、町の創生発展に皆様と協力しながら努めて参ります。今後のご指導ご鞭撻をお願い致します。

陳情

手話言語法（仮称）制定について国への意見書提出を求める陳情書

右記陳情書を3月議会で採択し、関係機関へ意見書を提出しました。

「手話言語法（仮称）」制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙（ごい）や文法体系をもつ言語です。手話を使う者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られ、時には新たな手話をつくり培ってきたのであります。

しかしながら、ろう学校では手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史がありました。

手話が言語音声と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現して下さるよう意見書を提出するものです。

請願

請願第三号 国民健康保険財政に関する請願

審議結果 不採択

反対討論 橋口知恵子議員

被用者が二割であったのが現在では三五%程度に増加し、滞納者世帯が増えている。国保税も二十年間で一・六倍になっている。

賛成討論 本山勝三議員

津奈木町は特別交付金、消費税交付金等ももらっている。県下でも最低の方の保険料であるため、町の不利益に関わる。

請願第四号 介護保険制度と介護従事者の処遇改善に関する請願

審議結果 不採択

反対討論 橋口知恵子議員

要支援一・二の方が訪問甲介護と通所介護が外され、特養への入所が介護度三以上になり介護報酬の二・二七%引き下げで社会保障費削減が盛り込まれ、介護の現場では人手不足が深刻になっている。

賛成討論 村上義廣議員

現在国が社会保障制度と税の一体改革に向けて議論がなされているため。

請願第五号 介護従事者の処遇改善を求める請願

審議結果 不採択

反対討論 橋口知恵子議員

介護職員の賃金の低さが職員の定着の悪さに拍車をかけている。二〇二五年の老養人口問題に対処できるよう介護従事者の改善を求める。

賛成討論 上村幸二議員

介護従事者に対しては報酬の引き上げがなされており、又各事業所での問題が側面にある。

請願第六号 安全・安心に医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願

審議結果 不採択

反対討論 橋口知恵子議員

看護師や介護職員は様々な要因で労働環境が悪化し、職場を去る人が後を絶たない、又夜勤をすることで病気になるリスクが高いと確認されているため、患者、利用者の安全まで影響がある。

賛成討論 村上義廣議員

各事業所での問題が側面にある。又医療・介護・夜勤問題は職員の立場としての緊急の問題である。

自治功労表彰

地方自治の発展に功績のあった2名の方が、全国町村議会議長会及び熊本県町村議会議長会から表彰されました。

議長在職七年以上の功績者

川崎尊深さん



議長在職二十三年以上の功績者

林 賢二さん



議会のうごき

【3月】

4日～20日 第1回議会定例会
18日 水俣芦北地域振興財団理事会
23日 水俣芦北広域行政事務組合議会

【4月】

19日 津奈木町消防点検
26日 津奈木町議会議員選挙

【5月】

12日 第1回津奈木町議会臨時会
20日 教育住民常任委員会
総務振興常任委員会

22日 熊本市町村議長研修会
26日～27日 第40回全国町村正副議長研修会

【6月】

2日 熊本市町村議長会臨時総会
10日 議会運営委員会
17日～18日 第2回津奈木町議会定例会
24日 教育住民常任委員会
25日 総務振興常任委員会

編集後記

四月の選挙では八年ぶりの選挙ということで、各候補の熱心な姿が目についた。編集後記を初めて任せられ、議会で行われていることをどのように伝えるのか、非常に悩ましいのが実感です。

六月議会の開会前に平成二十七年事業の説明を、議会全員協議会で役場執行部から説明を受けました。事前に共通の情報を共有することにより議事をスムーズにするのが目的です。光ブロードバンド事業、福浦漁港防波堤整備事業、温泉センターリニューアル事業、プレミアム付商品券発行事業についてありました。ドラマの次回予告みたいな編集後記ですが、山積みされた課題を解決するため、皆さんに関心を持っていただけたらと思います。

M・S

表紙の写真

平国小学校が、来年の三月をもって閉校します。議会だよりでは来年までの二年間、表紙の写真で平国小学校を特集し、皆様にお伝えします。今月は十七名の児童の皆さんです。

議会広報委員

委員長	本山 真吾
副委員長	川野 雄一
委員	久村 昌司
〃	澤井 静代
〃	上村 勝法